

## 【令和2年度提言への対応状況】

提言への対応状況は以下のとおりです。国土交通省航空局 令和4年度航空安全プログラム実施計画より抜粋。

提言：

### 【1】羽田空港の新飛行経路の柔軟な運用のための提言

- 引き続き、天候状況に応じた柔軟な運用に資する共通認識を持つため、レギュレータ含めたパイロット、航空管制官との継続的な意見交換を実施すること。

### 【2】羽田空港の進入経路における類似 Waypoint（経路上のポイント）に係る提言

- 羽田空港への同一の進入経路に聞き間違えやすい“ACORN” および“BACON”という類似の Waypoint が存在する。パイロットや管制官の誤認あるいは聞き間違えから意図しない経路逸脱等を未然に防止する観点からも、Waypoint 名称を変更すること。

### 【3】新千歳空港における航空機の地上走行に係る安全確保のための提言

- 新千歳空港の特定したエリアにおける不具合事例やヒヤリハット事例が散見されている。航空機の地上走行に係る安全運航を継続して確保していくことが不可欠であり、地上における衝突（Ground Collision）やブレーキの急制動による搭乗者の受傷のリスクを低減させるため以下を提言する。

(1) C-GSE 器材置場のブラストフェンスの改善、および冬期における同エリアの除雪の実施

(2) RWY 19R エンド ILS 41 アンテナの航空障害灯と航空機の赤色灯の誤認の改善

(3) C-GSE 通路走行の安全確保のため、航空機接近に対し注意を促す信号機の設置、悪天候時のう回路の整備等

対応（概要）：

【1】パイロットや航空管制官の継続的な意見交換が有益と考え、2020年夏以降、これまで3回の意見交換を実施。課題の共有のみではなく、天候状況に応じた羽田空港の柔軟な滑走路運29用方法についての認識の共有及び共通化がなされている。今後も、同様の意見交換を継続することが有益であると認識している。（なお、レギュレーター（管制安全室）から2回参加を行っている。）

【2】当該 WPT 名称については、2021年12月2日付けで名称の改正が実施された。（ACORN → ANZAK）

【3】(1)・ブラストフェンスのまわりに雪山ができないよう、またブラストフェンスが結露や光の屈折の関係で見通しが利かなくなる状態を避けるよう除雪時に配慮する。

・ターミナルビルから貨物地区の停止線手前周辺の除雪に配慮する。

(2) 当該事象について関係者間で共有すると共に、ハザードマップへの掲載を予定。

(3)・C-GSE通路およびW-GSE通路の誘導路手前にそれぞれ2箇所ずつ「航空機の接近注意」の看板を空港管理者によって設置。

・C-GSE通路およびW-GSE通路の停止線手前にそれぞれ2箇所ずつ表示されている「止まれ」のマーキングを空港管理者によって明確化。

以上